

## 完了トラッキングの仕組みと受講証発行

「完了トラッキング」設定、「活動完了」設定と「Certificate (受講証、合格証)」発行の条件設定

---

### はじめに

各コースのコンテンツを「編集モード」で作成する上で、コース上の各「トピック」内で、「+活動またはリソースを追加する」をクリックして追加できる小テスト、フォーラムなどの「活動」やURL、ページ、ラベルなどの「リソース」を追加されます。それぞれの追加された「活動」や「リソース」について、学生が閲覧したり、ダウンロードしたり、受験したりする学習活動を一つ一つトラッキングして、活動状況に応じて、Certificate (受講証、合格証)を発行したりする機能につなげる上で、「完了トラッキング」設定と、「活動完了」設定を理解することが重要です。

### I. 「完了トラッキング」の設定

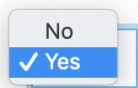
まず、「完了トラッキング」を使うかどうかの設定は、各コース内から右の管理コラム「管理」>「コース管理」>「設定を編集する」で、コース設定画面に入り、以下の「完了トラッキング」でYes(デフォルト設定です)を選択することで、各「活動」や「リソース」の設定画面で「活動完了」設定を行うことができるようになります。ここでNoを選択すれば、各「活動」や「リソース」の設定画面に「活動完了」の項目が表示されません。

#### ▶ ファイルおよびアップロード

---

#### ▼ 完了トラッキング

完了トラッキングを有効にする 



#### ▶ グループ



---







### II. 「活動完了」の設定

上記で Yes を選択した場合、追加された「活動」や「リソース」は、「編集」のプルダウンメニューから「編集を設定する」を選択して、編集設定に入ると、「活動完了」という項目設定が表示されます。この「活動完了」設定を理解しましょう。

#### ▶ 利用制限

#### ▼ 活動完了

完了トラッキング  ユーザが手動で活動を完了マークできる 

期待される完了日  19  5月  2020  20  50   Yes


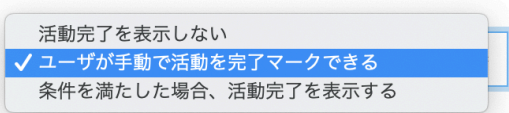
#### ▶ タグ







これは、コースを受講している学生が、導入された各「活動」や「リソース」で学習して、その学習活動を完了したとマーキングする「活動完了」を自らマーキングする仕組みです。

### III. [活動完了：完了トラッキング]の選択肢

「活動完了」の「完了トラッキング」のプルダウンメニューをクリックして、選択肢を確認しましょう。

#### ▼ 活動完了

完了トラッキング    
活動完了を表示しない  
✓ ユーザが手動で活動を完了マークできる  
条件を満たした場合、活動完了を表示する

期待される完了日  19  5月  2020  20  50   Yes

「活動完了を表示しない」「ユーザが手動で活動を完了マークできる」「条件を満たした場合、活動完了を表示する」と3つの選択肢が可能である。更に、「期待される完了日」という設定があり、Yes をチェックすれば、期待する完了日を設定できますが、**活動完了には影響しません**。活動完了レポートに日付が表示され、設定した日付を過ぎると色がつき、視覚的にわかりやすく表示されるだけです。

### IV. 活動完了のチェックボックス

「活動完了を表示しない」、あるいは「ユーザが手動で活動を完了マークできる」の選択の違いは何かとなりますが、ここがポイントになります。

「ユーザが手動で活動を完了マークできる」を選択すると、追加した「活動」や「リソース」の右横端に□**チェックボックス**が登場します。これが「活動完了」の自己チェックボックスです。

「活動完了を表示しない」を選択すると、このチェックボックスは表示されず、活動完了のトラッキング対象から除外されます。



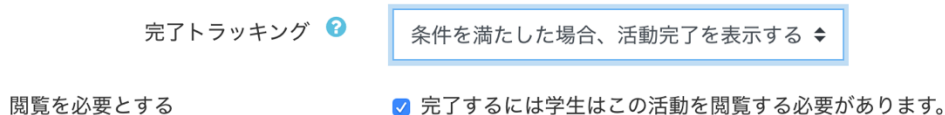
逆に「ユーザが手動で活動を完了マークできる」を選択した場合、受講した学生は、活動した証として、能動的にこのチェックボックスをクリックして、とする必要があります。

#### V. 「条件を満たした場合、活動完了を表示する」の設定：その1「ファイル」

では、残りの選択肢である「条件を満たした場合、活動完了を表示する」を選択した場合はどうなるのでしょうか？



資料配布などのリソース「ファイル」の場合には、「完了するには学生はこの活動を閲覧する必要があります」と表示されます。

##### ▼ 活動完了



この場合、□**チェックボックス**は表示されますが、学生は自分でこのチェックボックスをクリックできなくなり、配布資料をクリックして閲覧した場合、自動的にチェックが入り、画面を更新すればと自動変換されるます。

配布資料


 講義資料 

今日の講義の資料です。

## VI. 「条件を満たした場合、活動完了を表示する」の設定：その1「小テスト」

「活動」が「小テスト」の場合はどうでしょうか？ 「小テスト」の編集画面「活動完了」で、「条件を満たした場合、活動完了を表示する」を選択した場合、「完了するには学生はこの活動を閲覧する必要があります。」以外に、「この活動を完了するには学生が評定される必要があります。」や、「合格点を必要とする」または「利用可能な受験すべてが完了した場合」などのチェックボックスが登場します。要するに、「小テスト」では条件で自動で「活動完了」とするための設定には、「閲覧」だけでなく、「評定される」、「合格点を得る」、あるいは「受験が完了する」などの選択が可能となるわけです。

### ▼ 活動完了

完了トラッキング 

条件を満たした場合、活動完了を表示する 

閲覧を必要とする


完了するには学生はこの活動を閲覧する必要があります。






評定を必要とする

この活動を完了するには学生が評定される必要があります。 

合格点を必要とする 

合格点を必要とする  または利用可能な受験すべてが完了した場合

期待される完了日 

19  5月  2020  21  48   Yes

## VII. 「条件を満たした場合、活動完了を表示する」の設定：その3「評点」の設定

「合格点を必要とする」を選択する場合、同じ「小テスト」編集項目にある「評点」で合格点を小テストの総点以下の設定として入力しておく必要があります。

## ▼ 評点

評点カテゴリ ?	カテゴリなし ⇩
合格点 ?	60.00
受験可能回数	無制限 ⇩
評定方法 ?	最高評点 ⇩

### VIII 「Certificate (受講証、合格証)」発行の条件設定

さて、最後に活動完了と連動して、「Certificate (受講証、合格証)」発行の条件設定を設定する必要があります。

活動モジュール「Certificate」の設定画面に入りましょう。編集項目「利用制限」のデフォルトは、以下のように「アクセス制限」は「なし」となっています。

## ▼ 利用制限

アクセス制限

なし
制限を追加する ...

---

「制限を追加す…」をクリックすると、以下のサブメニュー画面が登場します。この制限を追加する条件は、「アクセス制限」と記されていますが、「アクセスを制限する条件ではなくて、アクセス制限を解除する条件ですので、注意が必要です。

制限を追加する ...	
活動完了	学生は別の活動を完了する (または完了しない) 必要があります。
日付	指定された日時まで (から) アクセスを禁止します。
評点	学生は指定された評点に到達する必要があります。
ユーザプロフィール	学生のプロフィールをもとにアクセスをコントロールします。
制限セット	複雑な条件に適用するため、一連のネスト制限を追加します。
<input type="button" value="キャンセル"/>	

単純に、「小テスト」の点数で、Certificate の発行許可に繋がれば、「評点」を選んで、評定「小テスト」「 評点 ≥ 60 %」とか設定すれば、小テストで 60%以上の点数を取得すればよいということです。

#### ▼ 利用制限

アクセス制限

学生  > 以下の条件に対して

評点

評点 ≥  %

評点 <  %

一方で、テストの点数だけではなく、特定の「活動」や「リソース」の活動完了を Certificate 発行の基準に加えるならば、アクセス制限項目を追加して、例えば下図のように、活動完了「講義資料」「完了マークされる必要あり」、および評点「小テスト」「 評点 ≥ 60 %」とすれば良いわけです。この場合、学生は、活動完了「講義資料」で活動完了のチェックボックスにチェックマークを入れて（あるいは条件を満たして自動でチェックを入れる）、かつ小テストで 60%以上の合格点を取得することが達成できれば、Certificate へのアク

セス制限が解けて、受講証（あるいは合格証）の発行に繋げることができるようになります。

#### ▼ 利用制限

アクセス制限

学生 合致する必要がある ⇅ 合致  すべて ⇅ 以下の条件

活動完了 講義資料 ⇅ 完了マークされる必要: ⇅ ×

および

評点 小テスト ⇅

評点 ≥ 60 % ×

評点 < %

制限を追加する ...

ここで注意が必要なのは、以下のように「活動完了」を選択せずに「選択」というようなままに置いておくと、学生は Certificate へのアクセス制限を解除できる条件に到達できずに、結果的に誰も受講証を発行できなくなってしまいます。

#### ▼ 利用制限

アクセス制限

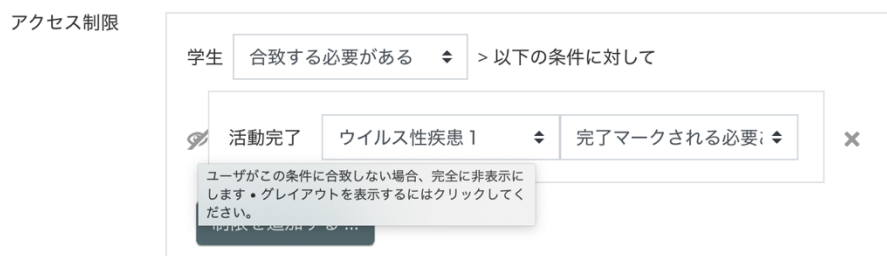
学生 合致する必要がある ⇅ > 以下の条件に対して

活動完了 選択 ... ⇅ 完了マークされる必要: ⇅ × 設定してください

制限を追加する ...

さらに、活動完了の左横にある「目玉マーク」をクリックすれば、条件に合致しない場合は、非表示設定にしてしまうこともできます。

#### ▼ 利用制限



### IX. 「コース完了」の設定

コース全体の研修・受講修了の基準を設定するのが「コース完了」設定です。右の管理コラム「コース管理」>歯車マーク「コース完了」をクリックして、「コース完了」設定画面に入ってください。

## 管理



### ▼ コース管理

設定を編集する

編集モードの終了

コース完了

> ユーザ

▼ フィルタ

> レポート

設定表セットアップ

> バッジ

ここでは、複数の各モジュールやリソースの活動完了（つまり□活動完了チェックボックスに✓チェックが入った状態）を持ってして、研修完了とする場



合、下の図のように「」コンディション：活動完了」で、該当する学習活動に✓を入れてください（あるいはすべてを選択する）。

## コース完了設定を編集する

コース完了

デフォルト活動完了

活動完了バルク編集

### ▼ 一般

完了要件

すべてのコンディションに合致した時点でコースが完了する ◆

### ▼ コンディション: 活動完了

すべてを選択する/なし

- ファイル - 医薬品の安全対策（医療者向け）
- ファイル - 医薬品の安全対策 ビデオ
- SCORMパッケージ - 練習プレクイズ 医薬品安全管理
- 小テスト - 研修修了テスト
- Certificate - 受講証明証：医薬品の安全対策

注意: 上記リストに表示するには活動の活動完了を設定する必要があります。

コンディション要求

選択された活動すべてを完了する ◆

同じ画面で「活動バルク編集」のタブをクリックされれば、まとめて視覚的に活動完了状態を編集することが可能です。


## 活動完了バルク編集

コース完了   デフォルト活動完了   **活動完了バルク編集**

あなたがバルク編集したい活動を選択してください。

編集

活動/リソース

完了トラッキング 

mSafe.onlineコース：医療安全

 アナウンスメント

なし

●資料配付

 医薬品の安全対策（医療者向け）

コンディション

完了するには学生はこの活動を閲覧する必要があります。

●ビデオ研修：医薬品の安全対策 医療専門職者向け（10分50秒）

 医薬品の安全対策 ビデオ

コンディション

完了するには学生はこの活動を閲覧する必要があります。

●試験前の練習クイズ

 練習ブレクイズ 医薬品安全管理

コンディション

完了するには学生はこの活動を閲覧する必要があります。

この活動を完了するには学生が評価される必要があります。

学生は少なくとも次のステータスに到達する必要があります: 合格

完了するには最低でも 60 点必要です。

●理解度テスト

 研修修了テスト

コンディション

完了するには学生はこの活動を閲覧する必要があります。

この活動を完了するには学生が評価される必要があります。

この活動を完了するには学生は合格点に到達する必要があります。

●受講証証明発行

 受講証明証：医薬品の安全対策

コンディション

完了するには学生はこの活動を閲覧する必要があります。

## X. まとめ

「完了トラッキング」の仕組みは、配布資料閲覧や、プレゼンテーション閲覧などの学習活動について、学生自ら、あるいは条件を満たしたときに「活動管理チェックボックス」にチェックが入ることで、学生に単に「小テスト」の合格点だけで、受講証を発行しない仕組みであるということです。単純に小テストの合格点だけで受講証の発行を認める場合は、活動完了状態のトラッキングは不要となりますが、各種の活動モジュールやリソースへの閲覧なども含めて、学習活動として認識して、学生が活動完了時点で自己チェックするか、それとも基準に達した場合に自動で活動完了とするかを設定し、さらにそれらの複数の活動完了状態で、コースの受講完了とするための設定が、この「完了トラッキング」の仕組みです。

2020年5月19日 by T. Sawa/Anesthesiology/KPUM